

## 2019年度図書館システム整備（モデル A）班活動報告

## 1. 活動概要

ローカルの図書館システムと中央システムがともに LSP (Alma) であるという条件下で、相互を連携させた環境を構築し、電子リソースライセンスの管理をめぐる諸課題の解決、検証に取り組んだほか、中央システム整備（電子リソース）班とともに、実運用において必要とされる電子リソースの「ライセンスメタデータ項目」について検討し、JUSTICE にシステムワークフロー作業部会としての提案を行った。

## 2. 活動詳細

(1) 中央システム整備（電子リソース対応）班により、中央システムに登録された A 班構成員の所属機関が購読する JUSTICE 提案のメタデータについて、ローカルの図書館システムと中央システムが以下のような組み合わせで検証を開始した。

- ① 図書館システムと中央システムが同一の NZ に所属する Alma (IZ) の場合
- ② 図書館システムと中央システムが同一の NZ を構成せず、それぞれ独立した Alma の場合

(2) 中央システム整備（電子リソース対応）班と共同で、2021 年度 JUSTICE 提案での利用を前提に、出版社に送付する「ライセンスメタデータ項目」に関する提案書のフォーマット案を作成した。

(3) 図書館システムとして Alma を利用する場合の「紙」の図書・雑誌に関する受入から公開に至るまでのワークフローについて、佛教大学における実際の業務フローを基に検証を開始した。

(4) NII 図書室における図書館システムの Alma 移行に関する検証を今年度中に開始する予定。

## 3. オンライン・ミーティングの開催

中央システム整備（電子リソース対応）班との打合せ 2019 年 9 月 6 日（金）

中央システム整備（電子リソース対応）班との打合せ 2019 年 11 月 27 日（水）

## 4. 2020 年度以降の活動

(1) 出版社等に由来する流通用メタデータを活用した、図書館システムの業務モデル再構築

(2) JUSTICE 提案における、新たな「ライセンスメタデータ項目」による、A 班構成員の所属機関における実運用の検証

(3) 中央システムと同一の NZ を構成していない Alma に対して「ライセンスメタデータ」を配信する、NII によって構築されるシステムを通じた実運用の検証

以上